

障がいを持つ子ども等への支援の状況

機関・団体	問題となっている点や課題と感じている点
三条市中学校長会	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校卒業後の進路・進学先の選択肢としてどのようなものがあるか、まとまった情報があるとありがたい。 ・「サポートシステム」と学校で作成している個別の教育支援計画の関係は？（質問）
月ヶ岡特別支援学校	<p>小学校・中学校共に通常学級に在籍している支援が必要な児童・生徒へ、支援を始める機会を逃してしまい、卒業の学年になり、進路の選択に十分考える時間がなく、適切な進路を選ぶことが出来ない相談のケースが多い。</p>
三条市手をつなぐ育成会	<p>障害をもつ子どもの保護者自身の理解不足に対する支援方法</p>
三条市私立幼稚園連盟	<ul style="list-style-type: none"> ・障がいをもつお子さんはどうしても手が必要になるので、公立私立に関わらず、人件費の補助をして欲しい。（安心して受け入れることが出来る。） ・障がいのない子の保護者にも正しい情報を得る機会を持ってもらえたらよいのではないかと思う。
三条市公立保育所	<p>「障がいをもっているだろう」のだろうの時、本人の困り感を何とかしてあげようと親を交えて話し合いをするが、親御さんにとってはあまり感じていられないような？</p> <p>保護者との話し合いがとても難しいと感じている。保健師も多忙であったり、もっと専門的な機関との関わりがあるとよいのか。</p>
三条市児童館・児童クラブ	<p>保護者や家族が障がいを持つ子どもとして受け入れていない場合、支援のギャップ（温度差）を感じる。</p> <p>児童クラブでも障がい児の受け入れが増えているが、受け入れるための指導員体制、施設、設備面を検討する必要があり、障がい児を受け入れて、安全面の確保や、健常児を含めた生活づくりで無理が生じないか考え、障がいのある子も安心できる場所にしていかなければならないと思う。</p>
三条市教育委員会 学校教育課	<p>（保護者からの相談）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校では校内通級の指導形態で特別支援学級に在籍していた。中学校では、その指導形態がとれないと言われた場合、中学校への進学に際して特別支援学級か通常学級か迷う。 ・中学校への進学に際して、高校への進学を考えると特別支援学級に在籍させていいのか迷う。 <p>（特別支援学級の運営）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通常学級で指導の困難な軽度発達障がい・学習障害のお子さんが特別支援学級で学ぶケースが増えてきている。障がいの状況の違いや差から指導に困難さが生じてきている。

機関・団体	問題となっている点や課題と感じている点
三条市教育委員会 子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3歳児健診以降に、集団行動に参加出来ない等気になる面が目立ってくる子どもの把握及び対応が十分行えているか不安 ・ 保育所等で対応に苦慮する子どもについて、保育士等が専門的見地からの具体的な指導・助言を受ける機会があるとよい。 ・ 就学に際し、担任の先生等実際に子どもに関わる担当者へ支援に関する情報を引き継ぐルールが確立されていない。

<参考資料>

平成22年度末中学校特別支援学級卒業生の進路状況

公立高等学校	7	特別支援学校高等部	15	福祉施設	1
(内訳)		(内訳)		(内訳)	
出雲崎高等学校	3	月ヶ岡特別支援学校	12	コロニーにいがた白岩の里	1
翠江高等学校 定時制	1	長岡聾学校	3		
加茂農林高等学校	1				
三条商業高等学校	2				